

公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団
2016年度（前期）指定公募
「在宅医療推進のための学会等への共催」完了報告書

NPO 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

第22回 全国の集い in 鹿児島 2016

『ご近所』が主役 おひとりさまも人生100年

申請者：吉井敦子

所属機関：特定非営利活動法人 在宅ケアを支える診療所・市民全国ネットワーク

提出年月日：平成28年10月27日

「ご近所」が主役というテーマのもと、「ご近所」が主役 おひとりさまも人生100年 きばいやんせ！！ と題して、平成28年9月18・19日の2日間開催されました。講演、企画、実践交流会を実施しました。

【参加人数】

内訳は表1の通りです。事前登録は619名、当日参加は53名、市民は413名、合計1085名でした。

今回の大会長が医師ではなく、社会福祉法人で医療・福祉の仕事をしている理事長でコメディカルであった為、通年の大会より医師以外（福祉関係者やコメディカル）の参加が多かったことは、地域包括ケアにおける他職種連携の重要性が伝わったといえます。また、この大会の趣旨でもあります、「ご近所」が主役の観点から、市民の参加が多かった点は市民の関心が高かったといえます。

会員（医師等）	事前受付： 56名
	当日受付： 8名
会員（上記以外）	事前受付： 228名
	当日受付： 6名
非会員（医師等）	事前受付： 23名
	当日受付： 14名
非会員（上記以外）	事前受付： 312名
	当日受付： 25名
市民	413名
事前受付合計	619名
当日受付合計	53名
参加合計	1085名

表1：参加人数

プログラムの内容に関しては、「ご近所」が主役と題して、基調シンポジウム、市民公開講座（2企画）、講演（3企画）、シンポジウム（10企画）、ランチョンセミナー（17企画）でした。また、初日の実践交流会は、95演題と多くの方に日頃の取り組みを発表して頂き、発表後は約1時間程度、発表者を交えてのディスカッションが熱く議論され日頃の悩みに対する解決へのヒントを得ていました。このような実践交流会の内容は本大会の特色ともいえます。

今回は、「ご近所」が主役の地域包括ケアを重点におき、基調シンポジウムとして、「人生100年初代の心意気」として企画しました。基調シンポジウムは、樋口恵子さん、上野千鶴子さん、三浦公嗣さん、大会長、加倉副大会長の4名で行われました（写真①）。人生100年を生き抜く為にはどのようにしたら良いか？活発な議論が行われました。会場は満席で会場の床に座らないといけない程の盛況でした（写真②）。



写真①：シンポジウムの様子



写真②シンポジウム会場の様子

市民公開講座①では、山崎史郎さん（前・内閣官房地方創世総括官）、雄谷良成さん、山崎亮さん等4名のシンポジストが、今こそ「ご近所」が主役のまちづくり～地方創世を考える を議論されました。市民公開講座②では、唐澤剛（内閣官房地方創世総括官）はじめ、開催地鹿児島での地域包括ケアの取り組みが紹介されました。その他、シンポジウムでは、医療・介護・保育人材枯渇時代を突破する戦略として、香取照幸さん（前・厚生労働省雇用均等・児童家庭局長）を始めとする3名のシンポジストが発表されました。さらに、介護人材不足の中で新しい企画として、看護男子スタディーズ（イケメン介護士）の2名に登壇して頂き、介護職は現実とは違うイメージが社会に浸透してしまっていますが、この企画を通じて介護の仕事に価値を見出しひたむきに頑張る若い力が大勢いることが伝

わったといえます。

全体を通し、在宅医療の九州各地の取り組みの連携に関するシンポジウムや鹿児島ならではの企画として「医師の居ない地域住民の暮らし」と題してのシンポジウムや在宅における小児医療の課題等、鹿児島のみならず全国の在宅医療に関する問題を有意義に考える大会となったと実感しています。

【反省点】

- 1、発表データの提出が当日の方もおられ、発表までに間に合うか心配した。
 - 2、パソコンとプロジェクターの連動が上手く行かなかった。
 - 3、ランチョンセミナーの時間がおして苦情があった。
 - 4、フロア責任者と連絡が取りづらかった。
 - 5、座長から、発表者の氏名に読みをつけて欲しかったとの意見があった。
- 等々の意見がありました。今後の課題とさせていただきます。

最後に、この大会は公益財団法人在宅医療助成勇美記念財団の助成によるもので、このような財団の助成のお陰で有意義な大会を開催することが実現し、在宅医療に携わる医師・他職種は非常に研鑽の機会となり、更に市民の皆様にも在宅医療のこと、「ご近所」の関わり・助け合いが今後重要であることについて知って頂くきっかけとなったことに感謝申し上げます。